

第14回新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センターセミナー

日時：令和7年12月18日（木曜日） 17:00～

場所：医学部実習棟 2階 P2 講義室

演題：がん細胞の脆弱性を標的として免疫逃避腫瘍細胞

バリエーションを駆逐するがん免疫療法

**Cancer immunotherapy that eradicates immune
escape variant clones targeting cancer vulnerability**



演者：池田 裕明 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
腫瘍医学分野 教授

近年、腫瘍に対する免疫療法が実用化され、大きく期待される。しかし、固形がんは腫瘍不均一性が強く、抗原や抗原提示分子の発現を失った腫瘍細胞クローンの存在が免疫療法の有効性を阻み、その克服は大きな課題である。我々は遺伝子改変T細胞療法を中心に新規がん免疫療法の開発を行なっているが、その中でこれら免疫逃避腫瘍細胞バリエーションをも排除可能ながん免疫療法の開発に取り組んでいる。最近、腫瘍細胞の代謝等の脆弱性を標的とした複数の化合物との併用により、抗原陽性腫瘍細胞のみならず、同時に抗原陰性腫瘍細胞にも細胞死を誘導可能ながん免疫療法の開発に成功している。また、T細胞のミトコンドリア機能を向上させることにより、通常はT細胞の認識から逃れている免疫逃避腫瘍細胞バリエーションにもT細胞応答を誘起することに成功し、ドミナントな抗原を欠損した腫瘍細胞を含む不均一性腫瘍も排除可能ながん免疫療法の開発に成功している。これらの新規なアイデアによるがん免疫療法は腫瘍不均一性が高い固形がんに対する有効ながん免疫療法の開発に必須な取り組みと考えている。【池田 裕明】

連絡先：

浦野 健

島根大学 研究・学術情報本部 新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター

TEL 0853-20-2127

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学（D3）

博士課程選択科目：細胞生物学I（D6）、老化I（D19）、理工医学のための生物材料学、理工医学のための生物材料学及び放射線（D109）

抗体やワクチンによる感染症の予防・診断・治療（D003）

医科学専攻（修士課程）選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御（M23）、理工医学のための生物材料学及び放射線の基礎（M37）

を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。